

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公表番号】特表2008-512416(P2008-512416A)

【公表日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-530646(P2007-530646)

【国際特許分類】

C 07C 215/44	(2006.01)
C 07C 215/50	(2006.01)
C 07C 213/02	(2006.01)
C 07C 249/02	(2006.01)
C 07C 251/16	(2006.01)
C 07D 215/38	(2006.01)
A 61K 31/47	(2006.01)
A 61K 31/4704	(2006.01)
C 07D 237/32	(2006.01)
A 61K 31/502	(2006.01)
C 07D 239/74	(2006.01)
A 61K 31/517	(2006.01)
A 61P 29/00	(2006.01)

【F I】

C 07C 215/44	C S P
C 07C 215/50	
C 07C 213/02	
C 07C 249/02	
C 07C 251/16	
C 07D 215/38	
A 61K 31/47	
A 61K 31/4704	
C 07D 237/32	
A 61K 31/502	
C 07D 239/74	
A 61K 31/517	
A 61P 29/00	

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項16

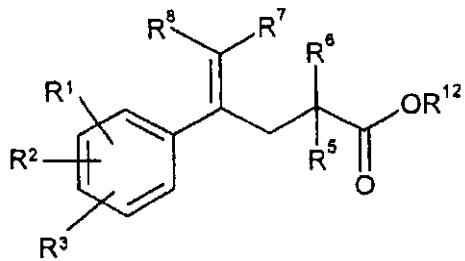
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項16】

下記式(IV) :

【化1】



[式中、

R^1 及び R^2 は、互いに独立して、水素原子、ヒドロキシ基、ハロゲン原子、置換されてもより(C_1-C_{10})アルキル基、(C_1-C_{10})アルコキシ基、(C_1-C_{10})アルキルチオ基、(C_1-C_5)ペルフルオロアルキル基、シアノ基またはニトロ基であるか、あるいは

R^1 及び R^2 は、一緒にになって、 $-O-(CH_2)_n-O-$ 、 $-O-(CH_2)_n-CH_2-$ 、 $-O-CH=CH-$ 、 $-(CH_2)_{n+2}-$ 、 $-NH-(CH_2)_{n+1}-$ 、 $N(C_1-C_3-\text{アルキル})-(CH_2)_{n+1}$ 及び $-NH-N=CH-$ (ここで n は1または2であり、そして末端の原子は直接隣接する環炭素原子に結合している)から成る群から選択される基、または NR^9R^{10} (ここで R^9 及び R^{10} は、互いに独立して、水素、 C_1-C_5 アルキルまたは(CO)- C_1-C_5 アルキルであることができる)であり、

R^3 は水素原子、ヒドロキシ基、ハロゲン原子、置換されてもよい(C_1-C_{10})アルキル基、(C_1-C_{10})アルコキシ基、(C_1-C_{10})アルキルチオ基、(C_1-C_5)ペルフルオロアルキル基またはシアノ基であり、

R^5 はヒドロキシ基、基 OR^{11} または $O-(CO)R^{11}$ 基であり、ここで R^{11} はヒドロキシ保護基または C_1-C_{10} アルキル基であり、

R^6 は(C_1-C_5)アルキル基または必要に応じて部分的もしくは完全にフッ素化された(C_1-C_5)アルキル基、(C_3-C_7)シクロアルキル基、(C_3-C_7)シクロアルキル(C_1-C_8)アルキル基、(C_3-C_7)シクロアルキル(C_2-C_8)アルケニル基、ヘテロシクリル基、ヘテロシクリル(C_1-C_8)アルキル基、ヘテロシクリル(C_2-C_8)アルケニル基、アリール基、アリール(C_1-C_8)アルキル基、アリール(C_2-C_8)アルケニル基、アリール(C_2-C_8)アルキニル基；1または2以上のケト基、(C_1-C_5)アルキル基、(C_1-C_5)アルコキシ基、ハロゲン原子または(C_1-C_3)エキソアルキリデン基で置換されてもよく、そして1または2以上の窒素原子および/または酸素原子および/または硫黄原子を含む一環式または二環式ヘテロアリール基；ヘテロアリール(C_1-C_8)アルキル基またはヘテロアリール(C_2-C_8)アルケニル基であり、ここでこれらの基は任意の位置を介してテトラヒドロナフタレン系に結合することができ、そして必要に応じて1または2以上の部位において水素化されてもよく、

R^7 及び R^8 は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、(C_1-C_5)アルキル基(これは OR^{10} 、 SR^{10} または $N(R^9R^{10})$ で置換されてもよい)であるか、あるいはメチレン基の炭素原子と一緒にになって(C_3-C_6)シクロアルキル環であるか、あるいは

R^1 および R^8 は、一緒にになって、アニール化された5~8員の飽和または不飽和炭素環または複素環であり、これは必要に応じて1~2個のケト基、1~2個の(C_1-C_5)アルキル基、1~2個の(C_1-C_5)アルコキシ基、1~2個のヒドロキシ基または1~4個のハロゲン原子により置換されており、

ここで基 R^7 及び R^8 の少なくとも1つは、水素原子ではなく、そして R^{12} は(C_1-C_5)アルキルまたはベンジルである]

で表される立体異性体。